

## トンネル台帳作成要領

### 1. 台帳作成対象

新設時及びトンネル断面の変更を伴う補修・補強工事を実施した場合に作成する。(ロックシェッド、スノーシェッドも含む。)

### 2. 台帳記入方法

項 目	記入方法
トンネル名	トンネル名を記入する。 上り線，下り線が別のトンネルの場合には，上り，下りそれぞれ用紙を分けて記入する。(トンネル名の後ろに( )書きで上り，下りの別を記入する。)
道路種別	該当する道路種別を選択し記入。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速自動車国道</li> <li>・一般国道 (指定区間, 指定区間外)</li> <li>・主要地方道</li> <li>・一般県道</li> <li>・市町村道 (1 級, 2 級, その他)</li> <li>・その他 (構内施設等)</li> </ul>
供用開始年次	一般交通を開放した年次を西暦年 (月まで) で記入
所在地	トンネルの「所在地」を起点側，終点側それぞれ字名まで記入
交通量	設計時の欄に計画交通量，現状の欄は近隣場所での最新調査結果 (道路交通センサス等) の値を記入
大型車混入率 (現状)	計画時の予測値を記入
交通量区分	該当する項目に○
交通形態	該当する項目に○
施工方法	該当する施工法を選択し記入。 山岳工法：標準工法：全断面掘削 山岳工法：標準工法：上半先進工法 山岳工法：標準工法：側壁導坑先進工法 山岳工法：在来工法 シールド工法 開削工法 沈埋工法 補助ベンチ付き全断面掘削 ベンチカット工法 (上半同時 or 交互掘進) 底設導坑先進工法 リングカット工法 (核残し工法) 中割式掘削 大背土平工法 中央導坑式 NATM (標準工法) 山岳工法：TBM 山岳工法：掘進工法 逆巻工法 頂設導坑式 上半中壁分割工法 その他 ※複数ある場合は，それぞれ記入する。

トンネル位置	該当する項目に○
覆工	<p>覆工の有無及び種別について、天井部・側壁部それぞれについて、以下より選択し記入し、「有」の場合種類及び厚さを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> <li>・吹付コンクリートのみ</li> <li>・覆工コンクリート（吹付け含む）</li> <li>・スチール（セグメント）</li> <li>・ブロック</li> <li>・レンガ</li> <li>・その他</li> </ul> <p>※覆工厚が一樣でない場合は厚さの範囲を記入。（ex. 10cm～15cm）</p> <p>※一次覆工，二次覆工それぞれについて記入する。</p>
内装	<p>天井部，側壁部それぞれについて記入する。（なしの場合は未記入。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「材質」：該当する項目に○を付ける。</li> <li>・「設置高さ」：路面からの高さを記入する。</li> <li>・「設置区間」：全長・坑口部等該当する区間を記入する。（複数ある場合はそのすべてを記入する。）</li> <li>・「設置延長」：設置区間それぞれの延長の和を記入する。</li> </ul>
舗装路面	材質について該当する項目欄に○を付け，併せて厚さを記入
排水施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「排水施設」：有無を該当欄に記入する。</li> <li>・「側溝」：U型・L型・スリット型・その他の別を記入する。</li> <li>・「排水ポンプ」：有無及び台数を該当欄に記入する。</li> </ul>
受注者	土木工事の受注者名及び主要工種を記入。（工種により別途発注している場合はそれぞれ記入）
設計者	詳細設計を実施した会社名及び設計年度を記入
換気施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当する項目欄に台数，口径，風量を記入する。（換気施設なしの場合は未記入）</li> <li>・送風機の口径が複数にわたる場合は，それぞれを記入する。</li> <li>・換気用のダクトがある場合は，「ダクト断面積」を送気，排気それぞれ該当欄に記入する。</li> <li>・「設定煤煙透過率」及び「一酸化炭素濃度」は設計時及び運用時それぞれ該当欄に記入する。</li> <li>・「制御方法」：該当する項目に○を付ける。（複数ある場合は該当すも項目すべてに○を付ける）</li> </ul>
照明施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「種類」：該当する項目欄に○を付ける。</li> <li>・「設置場所」：該当するものを選択し記入する。 天井部 隅角部 その他</li> </ul> <p>※複数の設置場所が用いられている場合は，それぞれ記入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「設定野外輝度」：入口部及び出口部について該当欄に記入。 ※輝度計等で測定不可能な場合は道路照明施設設置基準・同解説（日本道路協会）の野外の輝度を参照し，以下から選択し記入 6,000cd/m<sup>2</sup> 4,000cd/m<sup>2</sup> 3,000cd/m<sup>2</sup></li> <li>・「設置パターン」：該当する項目を選択し記入する。 片側 両側 千鳥 天井部一列</li> </ul>

	<p>隅角部一列 片側及び千鳥 直列 並列 千鳥及び両側</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「配線ケーブル位置」：該当する項目を選択し記入する。 照明器具の高さ 監査路上 天井部 監査路上及びその他 照明器具の高さ及び監査路上 隅角部 側面 その他</li> <li>・「耐火ケーブルの使用の有無」：該当する項目に○を付ける。</li> <li>・「施設設計時に路面輝度を1/2に低減？」：応・否について該当欄に○を付ける。 ※道路照明施設設計基準・同解説における「トンネル1本当りの日交通量が10,000台未満の場合、施設の設計時に基本照明の平均路面輝度を1/2に低減しているか」の略</li> <li>・「非常時に点灯する照明レベル」：照明施設の停電時対策として該当するものを選択し、該当欄に記入する。 全点灯 全点灯の1/2 全点灯の1/4 全点灯の1/8 その他（具体的な照明レベル記入する）</li> <li>・「制御方法」：晴天，曇天，夜間，非常時の各条件における制御方式及び制御方法を記入する。 ※1「制御方式」：該当するものを選択し記入する。 なし 照度計 輝度計 照度計・輝度計併用 受光装置 ※2「制御方法」：該当するものを選択し記入する。 センサー結果による方法 タイマー制御 手動 照度計・タイマー制御併用 輝度計・タイマー制御併用 照度計・輝度計タイマー制御併用 自動点滅器 自動点滅器・タイマー制御併用 自動調光装置 照度計・タイマー制御・自動調光装置 常時点灯 自動制御 フィードバック制御 その他</li> </ul>
非常用施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「有無」：各施設の設置状況を該当欄に記入する。（複数設置の場合は台数入力）</li> <li>・「設置条件」：該当する欄に○を付ける。</li> <li>・「通報先」：該当欄に選択し記入する。 事務所のみ 事務所と警察署 事務所と消防署</li> </ul>

	<p>事務所と警察署と消防署 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「施設が組み合わされているもの」：組み合わせパターンをそれぞれ記入する。(ex.①-②, ②-⑤-⑥)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自家発電設備」：施設の有無を記入する。</li> <li>・「デリニエーター」：施設の有無を記入する。</li> <li>・「坑口付近の施設」：該当する施設に○を付ける。</li> </ul>
配線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「配線ケーブル位置」：換気用・非常用それぞれについて該当するものを選択し記入する。  器具（施設）高さ  監査路上  天井部  監査路上及びその他  器具（施設）高さ及び監査路上  埋設管路（地中埋設）  ピット  隅角部  その他</li> <li>・「耐火ケーブルの使用」：使用の有無を記入する。</li> </ul>

【添付資料】

トンネル坑口現況写真（起点側・終点側各1枚）

標準断面図（1/100）

位置図（管内図に当該箇所を記入したもの）

竣工図縮小版（A3判）